



ご成婚者様の声

■Aさん（男性・会社員/製造業・35歳）

■お相手の方（女性・ショップ店員・37歳）

婚活を始めたキッカケ

婚活を始めたのは、33歳のとき。

仕事が忙しくて、出会いがなかったんです。

男ばかりの職場で、取引先も男性ばかり。

姉が結婚して子どもができて。

その様子を見ているうちに、「自分もそろそろ結婚してもいいかな」と思うようになりました。

最初、親に「婚活しようと思うんだ」と言ったら、反対されたんですよ。

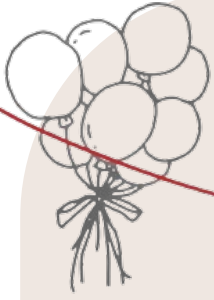
「そんなこと必要ない」って。

でも、普通にしていいたら出会いもないし、これじゃいつまでたっても結婚できるわけないので、婚活することを決めました。

最初は別の婚活システムを利用

最初は、婚活サイトというかアプリというか、アプリなんだけど相談員も対応してくれる、みたいなのところで婚活顔活を始めました。

半年くらい、そこで活動してみたんですが、とにかく大変で。



ご成婚者様の声

全部自分で申し込んで、会って、スケジュールを立てなきゃいけない。
一応、相談員がいるにはいましたが、どうも表面的なことばかりで・・・。
あと、相手の女性も、なんかこう、真剣じゃないというか、こちらを品定めするだけで、「お互いを知ろう」という感じが見られないんです。
こちらは真剣に結婚相手を探しているんですけどね。「このままじゃなかなか結婚できそうにないなあ」と感じていたとき、インターネットでPunonoを見つけたんです。

Punono に登録

話だけでも一度聞いてみようと思って、面談の予約をしました。

Punonoって、本当に小さな事務所なんです。ホームページで場所は確認しましたが、実際行こうとすると、「ここ大丈夫なのかな？」とドキドキしました。

でも、あんまり人が大勢いても落ち着かないので、こういう小さくてアットホームな事務所で、ちょうどよかったのかもしれない。

あとは、清水さんの人柄ですよ。

すごく話を聞いてくれて。

それですぐ、Punonoに乗り換えました。



ご成婚者様の声

Punono 入会后、わずか4ヶ月でスピード成婚

Punonoに登録してからは、あっという間でした。写真を振ったりプロフィールを作ったりは、準備に1~2ヶ月かかりました。

プロフィールについては、面談で質問にだけ答えて、何をどう書くかについてはPunonoに全て任せました。また、お見合い相手探しについても、希望の条件だけ伝えて、あとは丸投げです。

自分には女性を見る目がないと思っているので、そこはプロに任せてしまおうと思ひまして。

結果、その任せっきりがよかったみたいです。

入会から4ヶ月で成婚。

準備期間を除くと、Punonoでの活動は、実質2ヶ月あるかないかでした。

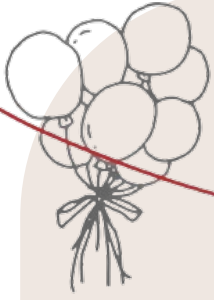
奥様との出会い

お見合いしたのは、3人です。

活動開始から1~2ヶ月の間に3人お会いしました。

今の奥さんは、清水さんから「ぜひ会ってほしい人がいるの。」

Aさんに、ぴったりだから、絶対気に入るから会ってみて」と紹介されました。



ご成婚者様の声

でも実は自分の出した希望からは外れていたんです。最初に希望の条件を聞かれたとき、「年下がいい」と回答していたんですが、「条件からは外れてるけど、会うだけ会ってみて」と言われて。「そこまで言うなら」という感じで会ってみたのが、今の奥さんです。

最初の印象

今の奥さんとは、最初のお見合いで会ったとき、「またお話ししたいな」と感じました。もちろん緊張はしましたが、全然嫌な感じではなくて。一緒にいて、疲れない。それで、2回、3回、4回と、デートを重ねていきました。話していると、思うこと、感じるものが近くて。同じタイミングで同じ言葉を言われたか。波長が合うんでしょうね。それで、初めて会ってから1ヶ月ぐらいでプロポーズして、成婚退会しました。一応、スピード成婚ではありますが、だからといって、一目惚れとか、熱烈な恋愛とか、そういうわけでもなく。「また会いたいな」という気持ちに毎回なる。そんな感じでしたね。



ご成婚者様の声

他の相手との違い

デートを重ねていくと、だんだん会う時間が長くなっていくじゃないですか。

そうすると、分かってくるんです。

当時は同時期に3人の方と会っていたので、土曜日はこの人で、日曜日は別の人、次の週はまた別の人、という感じで会っていると、違いが見えてくる。

他の人と会っているときは、「ちょっと疲れたな」とか「もう帰りたいな」と思うわけですよ。

申し訳ないけれど。

でも、今の奥さんとは、そういうのが全然なかった。本当のことを言うと、最後まで迷った女性が一人いるんです。

その方は、少し若い方で。

自分は結婚の条件に「年下」というのを入れていたくらいなので、若い方と今の奥さんと、悩みました。

でも、これから永く一緒に生活していくことを考えたら、「楽なのが一番だな」と思い、今の奥さんを選びました。

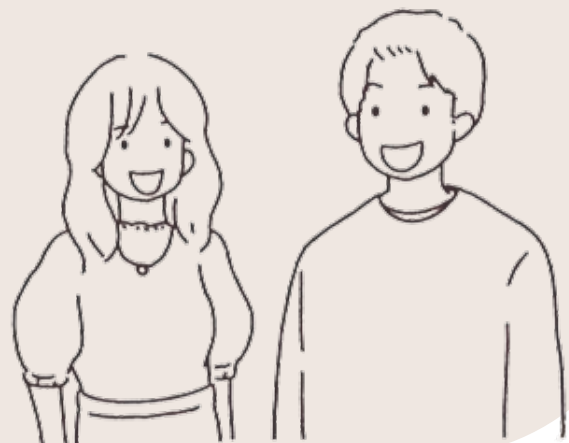




ご成婚者様の声

Punono のサポート

とにかく、Punonaでは話を聞いてもらえます。
全然気を遣わなくていいし、親身になってくれるし。
話していて楽で、何でも話せてしまいます。
あと、清水さんが自分の身の上話もしてくれたんです。
ご自身の結婚や婚の話。
その実体験から「相手のこういうところを見るのよ」と言われると、ものすごい説得力があって。
もう、「何でも任せちゃえ」という感じで、「次どこ行ったらいいですかね」「どんな話したらいいですかね」というところまで全部、相談に乗ってもらっていました。
なので、すごく気持ち良かったですね。

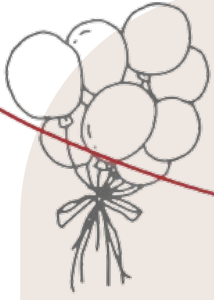




ご成婚者様の声

婚活を振り返って

とにかく時間を作るのが大変でした。
仕事も忙しかったし、両親も体調を崩していた時期で。
あと、ちょうどその頃、自分も仕事で腰を傷めていて、本当に何もかも大変なときにPunonoに登録したんです。
仕事だけでも大変なところに、婚活用の時間を用意しなきゃいけない。
相手が土日休みとは限りませんからね。
平日休みの方がいたら、仕事が終わってから会いに行くわけです。
仕事が終わった後、19時に待ち合わせして。
それも大変ですよ。
翌日の仕事もあるのに。
でも、今振り返ると、やっぱりベストなタイミングで婚活を始めた気がします。
今だったら、仕事がもっと忙しくなっているし、体力的にも、婚活なんてとても出来なかったでしょうから。



ご成婚者様の声

結婚してよかったこと

仕事、きついんですよ。

これを1人で頑張るって、限界があると思います。自分1人だったら、あんまり頑張る気力が湧かないんじゃないかと。

自分が死んだら何も残らないというのでは、そこまで頑張ろうなんて気持ちも起きない。

でも、結婚して娘が生まれたら、どんなにきつくても、「仕事頑張らなきゃな」という気力がみなぎってきます。

家族が心の支えになってくれている。

エネルギー源になっている。

そう感じますね。



ご成婚者様の声

婚活中の方へアドバイス

婚活って、いざ始めてみると、思っていた以上に難しいじゃないですか。

条件に合う人とは気が合わなくて、気の合う人とは条件が・・・みたいなこともあるでしょうし。

あと、周囲の人に相談すると、みんながみんなバラバラなことを言って、結局誰の話の聞けばいいのか分からなくなったりとか。

考えれば考えるほど、分からなくなる。

でも、最後の決め手って、案外、直感なんだと思います。

他の人がいろいろ言ってきて、自分も頭で考えるんだけど。

でも、自分の気持ちに正直になると、分かる。

最後、決めるのは自分ですから。

その決断が正しいかどうかなんて、死ぬときまで分かりません。

結婚に限らず、仕事選びでもなんでもそう。

人生って、分からない。

でも、決めなきゃいけないタイミングは必ずある。

外野の声とか頭でグルグル考えたことはいったん脇において、自分と向き合って、自分の直観を宿じることが大切だと思います。